

松本歯科大学口腔病理講座では、以下の研究を実施しています。この研究について詳細に知りたい方は、「問い合わせ先」までお問い合わせください。

また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、試料・情報の使用を拒否することができますので、「試料等の研究への利用に関する不同意書」をご提出ください。

研究の名称	正常唾液腺における Mammaglobin の発現
研究責任者	口腔病理学講座 嶋田勝光
研究期間	2018年9月1日～2023年3月31日
研究の目的・概要	正常唾液腺を用いて分泌癌に特異的に認められるタンパク質 Mammaglobin の有無、陽性細胞率、産生細胞の性質および調節因子を検索します。統計を用いて性差・年齢による傾向を調べます。この研究結果より、分泌癌の発生に関わる細胞と因子を知ることができる可能性があり、発生機序の一部を解明できることが期待されます。
利用又は他機関に提供する情報	2004年1月1日から2018年8月31日までに松本歯科大学病院で口腔乾燥症疑いの口唇生検、唾液腺嚢胞および唾液腺腫瘍の手術を受けられた方の以下の試料・情報を利用します。 試料：組織等 情報：性別、年齢、疾病名等
試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供する場合はその方法を含む)	分泌癌に特異的に認められるタンパク質 Mammaglobin を検出するため手術材料の中に含まれる正常な唾液腺を試料として利用します。このタンパク質の分布に関与する因子を検索するため、性差・年齢を利用し、統計的手法を用いて関連性を見出します。
試料・情報を利用する者の範囲	・口腔病理学講座・助教 嶋田勝光 ・口腔病理学講座・講師 落合隆永 ・硬組織疾患制御再建学講座・教授 長谷川博雅
問い合わせ先	松本歯科大学口腔病理学講座 嶋田勝光 電話：0263-51-2093